

2016年1月13日

横浜市立青葉台中学校 学校だより 自由と規律 - 新年号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail: y2aobada@edu.city.yokohama.jp

発行者: 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

新しい年がはじまりました。謹賀新年。ことしも皆さんと力を合わせて、きちっと目標が実現できるよう、それを目指して努力していきましょう。よろしくおねがいたします。

皆さんは、それぞれ、素晴らしい新年を迎えられたことと思います。日本の良い伝統としてのお正月。今年は大人にとっては短い休みでしたが、満喫されましたでしょうか？ご家族で満喫された方も多いと思います。実際に初詣に神社等へ行かれて、今年1年のことを祈願された方もおられると思います。1年の計は元旦にありともいいますが、私も恒例にしていますが、近くの神社に年越し参りをして今年についてお祈りしてきました。良い年になる様に、というか、良い年にするように精一杯やっていきたいと思います。そして7日も過ぎ、松の内も終わりました。成人の日も過ぎて、しっかりと1月のスタートです。

終業式、始業式で生徒の皆さんにお話したことを、ここに要約して記します。それは「時間を大切に使う」ということでしたね。世界でどんな状況にあっても、格差が広がっていると言っても、絶対にどんな人にも平等に、存在しているものがあるという話です。それはなんだと思いますか？ 答えは「時間」です。この地球上に存在しているものはすべて、平等に1秒は1秒としてすぎます。ある人だけ1秒が2秒ということはありませぬ。この話を以前ある人にした時、一度反論されたことがあります。ここにもそう考える方がおられるかもしれません。「時間程不平等なものはない」と言われました。「平等なんて嘘だ。」その人の根拠は、人であろうと、早死にする人、100歳を超えても健康体でいられる方、がいる。生きている時間は一緒でない。だから平等ではない。その通りです。でもこれは個体により持っている違いであり、時間が経過することとは少し違うと思います。時間経過は平等です。多くのことを実行し成し遂げる方はうまく使いこなしています。無駄に費やす方も多いのも事実です。無駄な時間というのも人の感覚の問題ですから、一概にそれが無駄な時間だったということではないかもしれません。デモいえることは、多くの歴史も物語っているように、うまく活用することが、いろいろなことを実現させています。それはバランスのとれた休養に使ってもその人にとっては有意義な時間になるのです。だから、この正月休みも有意義に活用してほしいと、伝えました。

年が明けて、さてどうでしたか？とも尋ねました。皆が本当に有意義に使うことができていたと信じます。

その時、時計以外に時間を実感する方法についてお知らせしました。やってみましたか？まだな人は絶対に一度は試してください。自然の雄大さに感動すると思います。時間は何が生んでいるのでしょうか？それは地球の公転と自転です。そのスピードを太陽を使って実感して、自然の偉大さに驚嘆してください。

その方法は、簡単です。道具もいりませぬ。夕方、日没時に5-6分あれば感じるすることができます。日が沈む時、どこか、地平線や海が最高ですが、どこでもいいです。落日を見ることができるところであればOKです。丸い太陽の「一番下の部分が消え始めるとき」、から「一番上の部分が消失してすべての丸い部分が地球に隠れるまで」、これが5-6分です。この時の太陽の動きが時間の流れです。自然はこの営みを一時も欠かさず営んでいます。それが、「時の動き」を実際目で感じる事のできる時です。(朝日は少し眩しすぎます。)

3学期は短く、すぐに時が進みます。今、書いたように時を有意義に使ってください。3年生は次の進路を確実にするように努力を！1, 2年生はその学年を有終の美で飾ってください。今年も元気で過ごしましょう。

* 部活動などで頑張る生徒たち(敬称略)

3学期始業式などで表彰を行いました。みんなの日頃の努力が実っています。うれしい限りです。おめでとうございます。

◎ 社会科 平成27年度 横浜市総合文化祭

3年: 坪内菜々香、2年: 篠原颯汰、新里ひなた、中島仁菜、長野拓生、成良資、岩元悠大、大川夏奈、熊谷日真、三品陽香、渡邊芽依、1年: 辻侑希

◎ 音楽科 平成27年度 横浜市総合文化祭 作曲コンクール

3年 歌曲の部 最優秀 松本珠佳

3年 リコーダーの部 最優秀 渡邊優衣

◎ 平成27年度全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会

・横浜市入賞 一ノ瀬真希、長澤明香里

・校内入賞 前田里奈子、坪内菜々香、渡邊凜、保原恵理奈、野地文萌、石津大翔、本田彩夏、杉本柚果、中関美南子、玉木里歩、岡林奏、安田理紗、住田羽月、辻侑希

◎ 人権標語 青葉台学区代表作品賞

3年 赤尾美帆、小島里花、山田千春、林楊洋、小倉寛太、角二千佳、飯田優芽、中嶋優歩、佐藤詩緒里、渡邊優衣

2年 足立美怜、松浦実春、廣瀬怜、福間安珠、久保田麻友、田口航也、川井千菜都、佐藤愛香

1年 江口玲那、近藤有馬、榎野優奈、竹村美尋、テヌグ・バンダラ、丹羽菜月、浅香陽太郎、藤城愛子、中谷衣里、平嶺日菜

◎ 男子ソフトテニス部

平成27年度横浜市民体育大会ソフトテニスジュニア中学1年生 男子団体の部 第5位

